

## 令和6年度第2回舞鶴市文化振興審議会 議事録(要約)

日時: 令和7年3月18日(火) 10:30~12:00

場所: 舞鶴市役所 別館6階 大会議室

出席者: (委員) 中川委員長、直田副委員長(オンライン)

鈴木委員、田中委員、中西委員、鎌野委員(オンライン)

(事務局) 福田部長、三方次長、松本担当課長、後係長、森下

会議内容:

1. [議題] 令和7年度の事業計画(案)について【資料1】
2. [報告] 令和6年度舞鶴市優秀文化賞被表彰者【資料2】

議事内容:

### ○ 委員からの主な意見・質問

#### ● 事業No.6「舞鶴市展2025」

▽遅い時間まで開館していることは、仕事を持つ者にとってありがたい。市役所ロビーでの巡回展示も広報として良いと思う。

▽作品数・入場者数の減少が聞かれるため、更なる発展を期待する。全国的に5部門が多いと思われるが、イラストや漫画など新しい部門の設置も検討してはどうか。

→文化協会と連携し、事業の発展に向けて検討していく。

#### ● 事業No.7「文化の見本市」

少子化で対象児童数が減少する中、何割程度の子供が来場しているのか疑問に思う。

→対象児童生徒数5,600人のうち参加者は約300名。広報を強化し更なる参加を促す。

#### ● 事業No.26「生涯学習推進事業(公民館コンサート)」

文化協会の活動の励みになる素晴らしい事業である。「ちょっとギャラリー」としての展示も始まり、市民への周知と更なる活動に期待する。告知方法の工夫も検討してほしい。近年、個人や少人数での文化活動が増加しているため、公民館や西市民プラザ、西駅交流センターなどを活用し、小規模でも活躍できる場を提供してほしい。

#### ● 事業No.27「舞鶴の農作物普及事業」、事業No.28「まいづるのお魚普及事業」

大浦の地場産物である万願寺甘とうや佐波賀だいこんが給食に多く提供されるようになり、子供たちが地元の食材に触れる機会が増えた。また、地元の魚を使った授業で子供たちの興味関心が高まり、残菜も減っているように感じる。今後も継続してほしい。

#### ● 事業No.32「引揚の史実の継承事業」

舞鶴市の小学校では6年生が引揚記念館を見学しており、歴史学習を基に中・高校生で語り部育成へと繋がる良い流れができています。引き続き重要視してほしい。

- 子供向けのアート体験やひな祭り体験など、子供たちが選んで参加できる企画はありがたい。少人数でも意欲のある子供たちのための継続的な取り組みは重要である。文化は積み重ねによって広がっていくものであり、「スタインウェイ」のように人気のあるものや、井上奈奈さんのような新しいアーティストの紹介も重要。大規模な講演会だけでなく、絵本を手にする保護者にも価値のある空間での展示は素晴らしい。